

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

—長期インターンシップ派遣—

平成 28 年度(第 4 期)募集要項



平成 28 年 4 月

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
次世代研究者育成プログラム

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>

1. プログラムの概要と長期インターンシップ派遣の趣旨

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムでは、理工農系、医療系、人文社会系の枠組みにとらわれず、若手研究者が異なる領域にも果敢に挑戦し、社会を変革する意識と情熱を持った人材を育てることを目指します。その一環として、若手研究者が実際の企業や社会の課題解決に貢献しつつ、実践的な能力の養成とキャリアオプションの拡大を図ることを目的として、長期インターンシップ派遣制度を設けています。

*イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムについては、(別紙 1)「未来を拓く地方協奏プラットフォーム 概要」を参照ください。

2. 長期インターンシップの募集対象

(代表実施機関) 広島大学、(共同実施機関) 山口大学、徳島大学、(連携機関) 岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、岐阜大学、県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学に在籍中の博士課程(博士課程前期を除く。)の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後5年程度以内の任期付研究者。

3. 長期インターンシップの募集人数

9名程度 (うち若干名程度を女性優先枠とする。)

4. 長期インターンシップの内容

(1) 派遣先: 国内外の民間企業、公的機関、非営利団体、国際機関、初等・中等教育開発機関

(2) 派遣期間: 2か月以上

(3) 実習内容: インターンシップにおけるOJTのほか、事前研修、事後研修を行う。

(4) その他: 広島大学及び連携機関にあつては広島大学の授業科目「長期インターンシップ」を履修する。

5. 応募方法

(1) 申請書提出前に事前相談を行いますので、下記(8. 問い合わせ先または9. 提出先)の連絡先にご連絡下さい。事前相談の際には、応募申請書(次項(2)①)をご持参下さい。

※当ホームページの「若手研究者ポートフォリオ」から登録していただきます。

(2) 提出書類

- | | |
|----------------------|----|
| ① 応募申請書 | 1部 |
| ② 指導教員の推薦書 | 1部 |
| ③ 在籍証明書 | 1部 |
| ④ 連携機関にあつては、所属機関の同意書 | 1部 |

(3) 募集期間

4月期: 平成28年4月1日(金) ~ 平成28年4月28日(木)

5月期: 平成28年5月2日(月) ~ 平成28年5月31日(火)

6月期: 平成28年6月1日(水) ~ 平成28年6月30日(木)

7月期: 平成28年7月1日(金) ~ 平成28年7月29日(金)

※口頭審査がある場合は募集月期の翌月初旬に行います。

※合格日より1年間を養成期間とします。

6. 選考方法

(1) 書類審査

- (2) 口頭審査（必要に応じて実施。）
- (3) 選考結果通知

7. 待遇

インターンシップ期間のみ雇用契約を結ぶ。

- (1) 給与（月額最大15万円）
- (2) 国内外派遣先への交通費等
- (3) インターンシップに関わる消耗品等（必要と認められるもの）

※連携機関在籍の者にあつては、広島大学研究員（パートタイム）として雇用する。

8. 問い合わせ先

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」運営協議会事務局

〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学グローバルキャリアデザインセンター（若手研究人材養成担当）

Tel : 082-424-2058

E-mail: hiraku@hiroshima-u.ac.jp

9. 提出先

【広島大学または連携機関に在籍の方】

〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学グローバルキャリアデザインセンター（若手研究人材養成担当）

Tel : 082-424-4563

E-mail : wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

【山口大学に在籍の方】

〒753-8511 山口市吉田 1677-1

山口大学大学研究推進機構研究推進戦略部 URA 室 コンソーシアム担当

Tel : 083-933-5255 0836-85-9990

E-mail : conso@yamaguchi-u.ac.jp

【徳島大学に在籍の方】

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町二丁目1番地

徳島大学研究支援・産官学連携センターリサーチ・アドミニストレーション部門

Tel : 088-656-9759

E-mail : hiraku@tokushima-u.ac.jp

長期インターンシップ派遣(第4期)(DC用)

応募申請書

履歴等

セイ 姓		メイ 名		所属 学年			
生年月日(西暦)	年	月	日生	性別	男・女	国籍	
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:						
学歴 ※大学卒業以降について詳細に記載する。 欄が足りない場合は追加する。	年	月	大学	学部	学科卒業		
	年	月	大学大学院				
	年	月	大学大学院				
	年	月					
言語	母国語			日常会話が 可能な言語			
語学に関する資格・点数(英検、TOEIC等)	年	月		留学生の場合、政府 派遣、国費、私費の別			
	年	月					
現在受給している 助成等の有無	有・無		具体的な助成等名(RA、TA、日本学術振興会特別研究員等)とその業務内容				
企業等との共同 研究の経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること)						
インターンシップ の経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること)						

1 インターンシップ派遣に対する抱負

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1,000字程度以内で記述すること。

- ① 志望動機、理由(インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか など)
- ② 希望する派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野(決まっている場合)とその理由
- ③ 派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ インターンシップ後のキャリアパスについて

2 これまでの研究概要

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点(アピール・ポイント)、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること(図表を含めてもよい)。

3 研究業績(参考)

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのものみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

長期インターンシップ派遣(第4期)応募者に関する推薦書(DC用)

「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。

所属機関・専攻

職名・氏名 _____ ㊟

連絡先(電話・e-mail)

① 応募者との関係

② 応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力(着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど)について記入してください。

③ 応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。

※作成上の注意

推薦書は1ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

**長期インターンシップ派遣(第4期)(PD用)
応募申請書**

履歴等

セイ 姓		メイ 名		所属			
生年月日(西暦)		年 月 日生		性別	男・女	国籍	
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:						
学歴	年 月		大学	学部	学科卒業		
	年 月		大学大学院				
	年 月		大学大学院				
	年 月						
	※大学卒業以降について詳細に記載する。欄が足りない場合は追加する。						
	年 月		博士学位取得(見込み) (学位名称_____)				
言語	母国語		日常会話が可能 な言語				
語学に関する資格・点数(英検、TOEIC等)	年 月		留学生の場合、政府派遣、国費、私費の別				
	年 月						
職歴	具体的な助成等名(RA、TA、日本学術振興会特別研究員等)とその業務内容						
企業等との共同研究の経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること)						
インターンシップの経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること)						

1 インターンシップ派遣に対する抱負

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1,000字程度以内で記述すること。

- ① 志望動機、理由(インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか など)
- ② 希望する派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野(決まっている場合)とその理由
- ③ 派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ インターンシップ後のキャリアパスについて

2 これまでの研究概要

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点(アピールポイント)、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること(図表を含めてもよい)。

3 研究業績(参考)

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのものでのみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

長期インターンシップ派遣(第4期)応募者に関する推薦書(PD用)

「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。

所属機関・専攻

職名・氏名 _____ ㊟

連絡先(電話・e-mail)

① 応募者との関係

② 応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力(着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど)について記入してください。

③ 応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。

※作成上の注意

推薦書は1ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

同意書

広島大学長 殿

(応募者の氏名)

_____の長期インターンシップ派遣において、下記のことに同意する。

記

1. 応募者が博士課程（博士課程前期を除く。）の学生である場合は、広島大学大学院共通授業科目「長期インターンシップ」を履修すること。
2. 所属大学の責任において、応募者が博士課程（博士課程前期を除く。）の学生である場合は、応募学生を学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険に加入させること。
3. 長期インターンシップ派遣において締結する「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムにおける長期インターンシップ派遣の実施に関する覚書及び実施要項について、広島大学及び受入機関と協議の上、締結すること。

以上

平成 年 月 日

住所
所属大学名
代表者

印

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業 次世代研究者育成プログラム

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」概要

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」は、広島大学、山口大学、徳島大学が共同実施機関（代表機関は広島大学）となり、中国四国地方を中心とする主として西日本の国公立大学、企業、公的機関等を連携機関とした産官学コンソーシアムを形成し、高度に複雑化した現代社会の課題解決を担う博士人材の輩出を目指しています。

本コンソーシアムでは、下記の（１）イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム及び（２）テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラムの下、博士課程後期の学生、ポストドクター、テニュアトラック研究者に対して、各キャリア段階に応じた支援をシームレスに行います。

（１）イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

本プログラムでは、「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」に所属する若手研究者（博士課程講義学生を含む）が、地域や国際社会を変革する人材として自立するために、実践的な養成環境を整備します。また、連携機関等との連携により、共同研究や PBL（Problem Based Learning/Project Based Learning）に基づくインターンシップを行う等、実際の事業や地域社会における課題解決に貢献する機会を提供します。具体的な取組は次の４つの視点で行います。

- ①若手研究者の研究力・企画力の養成
- ②長期インターンシップ派遣（２か月以上）
- ③シーズ・ニーズの出会いの場の提供
- ④マッチング支援

（２）テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム

有望な若手研究者を国内外から公募・選考し、テニュアトラック研究者として採用します。採用後は PI（研究室主催者）として自立した研究活動が行える環境を用意した上で、多様な雇用・流動形態（ラボローテーション、クロスアポイントメント含む）の導入により、他機関の研究者とのネットワーク構築、武者修行の場を提供し、最終的な受入先とのマッチングを図ります。優秀な女性の活躍の場を増やすために女性枠を設けます。具体的な取組・支援は以下の通り。

- ①URA・研究事務補助員の配置、研究に専念する環境と研究推進支援体制の提供
- ②スタートアップ研究費、活動経費の助成
- ③各機関や研究者本人の発展を支援し、適材適所の雇用機会の創出
- ④メンターの配置